



全国ランニング大会100撰に2年連続選出

2020 スポニチ いわて奥州きらめきマラソン

「きらめき応援隊」「個人協賛者」募集！

参加した多くのランナーから「沿道の温かい応援が力になりました」という声をいただいています。全国から集まるランナーとの触れ合いや仲間との応援を通じて、大会を盛り上げてみませんか？ また、2,000円以上の協賛で大会を支援していただく「個人協賛者」(サブスクリバード)も募集しています。

■問い合わせ・申込先=いわて奥州きらめきマラソン実行委員会事務局(江刺総合支所内・☎34-2498)

【きらめき応援隊】

- 応援内容 郷土芸能や楽器演奏、ダンス、横断幕を使った応援など。趣向を凝らした応援大歓迎！
- 実施時間・場所 大会事務局との協議により決定
- 募集団体数 20団体程度(職場、地域団体、スポーツ少年団など。原則1団体10人以上)
- 募集期限 2年2月28日迄
- 応募方法 大会ホームページから申込用紙をダウンロードし、メール、ファックス、郵送などで提出

【個人協賛者】

- 協賛の定義 個人が対象。協賛金は1口2,000円
- 協賛の特典 大会のタオル、または過去大会のTシャツを進呈。大会ホームページでお名前を紹介
- 受付期限 2年5月15日迄
- 申し込み方法 大会ホームページにある申込用紙に現金を添えて、上記事務局へ申し込む。郵便振替や郵送による申し込みも可 ▲大会HP(詳しくは大会ホームページをご覧ください)



いわた奥州きらめきマラソン第4回大会は5月17日開催です

最新情報はこちらから ⇒ 大会HPアドレス <https://oshukirameki.jp>

きらめきマラソン 検索

旧土地開発公社土地の処分活用状況を公表します

◎問い合わせ
本庁財産運用課販売推進係
(☎34-2114)

土地開発公社の解散により取得した土地の令和元年度上半期の処分活用状況や、公社解散のため借り入れた第三セクター等改革推進債(三セク債)の状況などについてお知らせします。

■土地の処分活用、予算の執行状況

住宅用分譲地を目標の20件に対して10件(5,868万円)売却しました。

歳出では、▽土地売却のための経費▽除草など土地の維持管理経費▽今後の三セク債の繰り上げ償還に充てるための基金への積み立て—などで6,391万円を支出しました。また、これらとは別に、三セク債を2億2,180万円償還しました。

土地は、活用する方針のものと売却処分する方針のものがあります。売却処分する方針の土地は、残り178筆、11万751㎡です。

■減債基金の状況、三セク債の状況

売却収入の積み立ての結果、減債基金の残高は3億3,940万円となりました。三セク債の当初起債額は、86億6,000万円です。元年9月末の借入残高は、36億2,900万円となっています。

■旧土地開発公社土地に関連する元年度予算執行状況 (元年9月末現在)

項目	執行額(万円)
歳入	
土地貸付収入	1,616
土地売払収入(分譲地)	5,868
減債基金による利子	3
減債基金からの繰入金	0
合計	7,487
歳出	
維持管理費など	520
減債基金への積立金	5,871
三セク債償還金	2億2,179
合計	2億8,570

■減債基金の状況 (単位:万円)

区分	前年度まで	元年度	累計
積立額	22億8,069	5,871	23億3,940
繰り上げ償還	△20億	0	△20億
合計	2億8,069	5,871	3億3,940

■三セク債借入残高 (単位:万円)

区分	当初起債額	償還済額	残高
元金	86億6,000	50億3,100	36億2,900

思いをカタチに 地域づくりの輪



大型紙芝居を創る会「若葉会」

幅広い世代に浸透 紙芝居の題材は郷土にまつ

前沢中学校が移転した翌年の平成15年に、高齢者が中学生と直接触れ合いながら学習できる場として、中学校内に開校した「ふれあい学級」です。この参加者の中で「何か社会に貢献したい」「郷土の先人や歴史を紙芝居にすることで、地域に伝えていけるのではないか」という思いが生まれ、16年5月に会を設立しました。

「他団体と協働で取り組むこ

また昨年度には、市民提案型協働支援事業補助金を活用し、前沢出身の児童文学作家である故森田純氏の物語を原作に大型紙芝居を制作。絵本の読み聞かせをしている「前沢おはなし広場」とのコラボレーションで披露しました。



活動の「困った」に駆け付けます！

奥州市民活動支援コーディネーターの鈴木まゆ子さんが、市内の市民公益活動団体を紹介します。

市民活動支援コーディネーター

市民公益活動(市民による自主的・自発的な社会貢献活動)を行う団体を支援することを目的に本年度から新たに設置しました。団体の皆さんの話を聞きながら、情報発信や相談などを行っています。

■問い合わせ
地域づくり推進課 市民活動係
(江刺総合支所・☎34-1618)

わるもの。年に一つの作品を作ることを目標に、物語や下絵、色塗り、読み聞かせの録音まで会員みんなで行っています。多くの人に見てもらおうと、絵は、絵画の講師に指導を受けながら描きます。最初に完成させた「私達のふるさと」を皮切りに、今まで15作品を完成させました。作品は、毎年10月に開催される前沢芸術祭で披露されています。その後、大型紙芝居は前沢図書館に寄贈。前沢図書館で管理、貸し出しを行うことで、より多くの人に見てもらえるようになっていきます。昨年度に大型紙芝居を利用した団体数は41団体でした。利用した団体からは「地域の歴史を知ることができた」「地域の世代間交流や活性化につながった」という声が聞かれます。

は「これからも一緒に取り組

とで活動の輪が広がり、若い世代とのつながりを持つことができた」と会では振り返ります。



月に1回集まり、大型紙芝居を作ります



悦(☎0901622814975)

一緒に大型紙芝居を作り、地域に貢献しませんか。活動日時や場所など詳しくはお問い合わせください。

会員を募集しています

む仲間を増やしながら活動を続けていきたい」と意気込みを語りました。



前沢芸術祭でのステージ発表



森田純原作「鬼の面こ」